

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

|      |                        |     |       |                   |  |
|------|------------------------|-----|-------|-------------------|--|
| 法人名  | サクスクリエーション<br>合同会社     | 代表者 | 高橋 清彦 | 法人・<br>事業所<br>の特徴 | 小規模多機能の他に居宅介護支援、地域密着型通所介護、訪問介護、障害者相談支援、有料老人ホーム、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所があり、令和3年4月からは定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスも開始。幼児からお年寄りまで様々な交流に向けて、多機能性ある柔軟な支援をし、利用者の生きる力を広げ生活そのものを支援し、地域との関わりを大切にする。また、施設併設のカフェやアリガト書店など地域の方々にも気軽に利用して頂けるスペースもあり、更に繋がりを広げる取り組みをしている。当事業所は家庭的で落ち着いた雰囲気の中で穏やかに楽しく過ごして頂けるような関りとケアを心がけており「共に明日を生きる」をキーワードに利用者のご自宅での生活を支援しています。地域との交流も積極的に行い、地域に開かれた施設を目指しています。 |
| 事業所名 | サクス小規模多機能型<br>居宅介護やすらぎ | 管理者 | 中島 佳太 |                   |  |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
|     | 1人    | 人        | 1人        | 人   | 1人    | 1人         | 人     | 3人    | 人   | 7人 |

| 項目            | 前回の改善計画  | 前回の改善計画に対する取組み・結果  | 意見   | 今回の改善計画  |
|---------------|--|--|--|--|
| A. 事業所自己評価の確認 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が地域で生活をする事ができるように人間関係や地域資源、社会資源を知り、利用者の軒下マップを担当チームが主になり作成し、標準的な資料として活用していく</li> <li>・自己評価前の事前研修は年間の研修に位置付け、研修を実施する。その他にも制度に関する研修(生活保護・成年後見制度)、権利擁護・プライバシー保護・個人情報の保護に関する研修等も計画し職員のスキルアップを図る</li> <li>・ハッピーハットが多くなると職員のモチベーションも上がるので、引き続きハッピーハットに視点を置き取り組む</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係、地域資源を知るための「軒下マップ」を担当チーム主体で作成しようと計画したが、軒下マップ作成の具体的な進め方の話し合いができなかったので取り組めなかった。</li> <li>・自己評価前の事前研修を行い、各項目についての内容・チェック項目のポイントを理解したうえで自己評価に取り組む事ができた。全体ミーティングの時間で権利擁護・プライバシー保護に関する研修も実施し、共通認識の形成を行った。</li> <li>・ハッピーハットは毎回限られた職員から聞き取りして運営推進会議の資料に載せていた。職員誰でもハッピーハット報告をあげられるように書式を作成するな</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所自己評価の経過を見て、しっかり取り組んでいる事が分かった。</li> <li>・コロナ感染予防のため施設内に入る機会がほとんどなかったので具体的な事は分からないが、利用者は落ち着いて生活できている様子は分かったのでよく取り組んでいると思う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理解を深めるために今年度も自己評価前の事前研修は年間の研修に位置付け、研修を実施する。</li> <li>・個別評価から総括表までのフローチャートを作成し、運営推進会議の場で委員の皆様サービス評価の仕組みと当社の実践状況を報告し、取り組んでいる経過を具体的に知って頂く工夫をする。</li> <li>・前回の改善計画に掲げた「軒下マップ」の作成は達成できておらず、地域での暮らしを支えるために改善するべき課題なので今回の改善計画に再掲げしたい。記入例と統一した書式を使い、カンファレンス等で担当班、計画作成者、管理者で話し合い作成していく。</li> </ul> |

|                |   |   |   |   |
|----------------|---|---|---|---|
|                |   | どの工夫が必要だった。全体ミーティングの際にハッピーハットを職員全員で共有する事も必要だった。   |   |   |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活の場で仕事をさせて頂いているという気持ちを忘れず接遇を心掛け安心して過ごして頂ける環境づくりを目指す</li> <li>・備品等の把握と管理を行う(備品台帳等で管理)</li> <li>・定期的な施設内外の環境整備を継続して行う(整理整頓)</li> <li>・新型コロナウイルス予防対策を整えた環境作りを継続して行う</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・尊厳の尊重・利用者本位の生活を支えるための標準的ケアを廊下に貼り出し、毎日朝礼で復唱し職員の意識づけを図った。</li> <li>・備品等を管理する担当を決めてその担当者が主に管理を行った。</li> <li>・定期的な環境整備を行った。<br/>施設内床ワックス掛け年/1回<br/>風呂掃除(カビ取り等)月/2回<br/>施設外草刈り 年/1回<br/>年末大掃除(施設内外)<br/>施設内消毒と換気 毎日/4回(10時・12時・15時・18時)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関はオープンになっていて、かつ利用者が間違っ外出する危険が低いので良いと思う。</li> <li>・コロナの為まだ事業所に入りやすいとは言えない。</li> <li>・コロナ感染者数は減っているが第9波の心配もあるので今後も対策に力を入れてほしいと思う。</li> <li>・玄関までしか分からないが、それだけでも居心地の良い雰囲気は伝わってくる。職員の対応が良かったからだと思う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着ける空間・安全に過ごせる空間にするために定期的な施設内外の環境整備を継続して行う(不要な物品の仕分け)(整理整頓)</li> <li>・引き続きコロナ感染状況に応じた柔軟な対応をしていく。マスク着用・お茶、食事前の手指消毒・定期的な換気(10時・12時・15時・18時)・テーブル、アクリルパーテーションの消毒等コロナ感染予防対策を整えた環境作りも継続して行う。</li> <li>・利用者に安心して幸せに過ごして頂ける環境を作るための一つとして接遇マナー(挨拶、声かけ・言葉遣い・表情・態度・身だしなみ)に関する社内研修を実施する。</li> </ul> |
| C. 事業所と地域のかかわり | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者と一緒にできる地域活動計画<br/>例えば「散歩をしながらゴミ拾い」「散歩をしながら回覧板と一緒に届ける」など「サンクス」という一軒の家族として地域と関わっていく</li> <li>・地域の方々にサンクスの情報や活動状況を知って頂くために情報発信の方法として回覧板の活用を再度試してみる</li> <li>・広報担当は分担制にして2ヶ月に1回広報誌発行していく</li> <li>・定期で開催されている環境美化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の改善計画で掲げた利用者と一緒にできる地域活動計画・地域の方にサンクスの情報や活動状況を知って頂くための回覧板の活用は担当を決めたり具体的な取り組み方の話し合いができなかったのが達成できなかった。</li> <li>・定期で開催されている環境美化運動には毎回参加できた。分担制にしたので今まで参加した事がない職員も活動を通して地域の方と交流できた。</li> <li>・コロナ感染予防対策を行いなが</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が気軽に事業所に相談に来ている事は良いと思う。</li> <li>・コロナ禍の為、地区行事の中止が多かったのが地域との関りも難しかったと思う。</li> <li>・高齢になって不安を抱えている方が気軽に相談できる場所がもっとあればいいと思う。サンクスが地域のお手本になってもらい、周りの地域に広がってほしいと思う。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期で開催されている環境美化運動は引き続き参加させて頂き、他の地域行事についてはコロナ感染蔓延防止の観点等から開催の可否について可能であれば参加させて頂く。</li> <li>・コロナ感染予防対策を行いながら、サンクスでのイベント(お祭り・朝市・ふれあいサロン等)や地域向けの勉強会を再開して地域との関りを徐々に増やしていく。イベントの際、介護相談ができる場を設けて地域に必要とされる事業所になる。</li> </ul>  |

|                               |   |  |   |  |
|-------------------------------|---|--|---|--|
|                               | <p>運動は引き続き参加させて頂き、他の地域行事については新型コロナ感染蔓延防止の観点等から開催の可否について可能であれば参加させて頂く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に有料に入所されている利用者が楽しめる事を計画し実施していく</li> </ul>   | <p>ら玉ねぎ収穫祭やふれあいサロンに利用者と一緒に参加できた。桜や紅葉の見頃の時期にはドライブに出かけ季節を楽しんでもらえた。</p>   |   |  |
| <p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人の地域での暮らしのニーズを把握し柔軟な支援ができるように職員の人員配置・実施日時、具体的支援内容を事前に計画して実行していく（その時のコロナの状況でできる事も限られるかもしれないが上司と相談しながら状況に応じた最善の支援を行う）</li> <li>・利用者以外のご近所の心配な方の支援は小規模多機能だけではできない事であり、今後も地域包括支援センター・民生委員の方々・地域住民の方々とネットワークを作りながら取り組んでいく</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のニーズと状態に合わせて地域での暮らしを柔軟に支援できた。地域の方々との連携もできており繋がりを大事にした関りができている。</li> <li>・地域の方々と連携し、ご近所の心配な方の支援に繋げる事ができた。今後も地域の方々とのネットワークを作りながら取り組んでいく。</li> <li>・ひとり歩きの多い利用者に対して、地域包括支援センターと協力し隣近所・周辺のお店や会社・穂高交番・豊科警察署に利用者の情報を提供し見かけた時はサクスに連絡をもらえるようにネットワークを広げひとり歩きの早期発見、事故防止に繋がっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍もあり難しいかと思うが、来年度以降は徐々に地域との交流の機会を増やせると良いと思う。</li> <li>・地域に向いて本人の暮らしを支える為にはネットワークが大事だと思う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が地域で生活をする事ができるように、人間関係や地域資源を知る「軒下マップ」を各担当班で作成する（再掲げ）</li> <li>記入例と統一した書式を使い、カンファレンス等で担当班、計画作成者、管理者で話し合い作成していく。</li> <li>・今後も引き続き地域の方々とのネットワークを活用し、利用者が安全に地域で暮らせるように支援する。</li> </ul> |
| <p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染防止の観点から会議は今後も書面開催が予想されるので小規模多機能についての説明や看護・介護職員からの利用者の様子や活動状況の報告（写真なども添付する）地域の皆さんに相談したい事などを記載して報告書の内容を工夫していく</li> <li>・全体ミーティングで運営推進会議の内容を職員間でも共有して事業所全体で取り組んでいける</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年もコロナ感染防止の観点から会議は書面開催で行ったので利用者の日々の様子や活動状況は詳しく報告書に記載した。5月の運営推進会議報告書では活動写真の添付も出来たが、それ以降継続できなかった。</li> <li>・運営推進会議の情報共有と全体での話し合いの時間を計画できなかった。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書面開催とせざるを得ない状況が続いており、毎回丁寧に資料が作られていて良いと思う。活動報告について写真の掲示等があれば、より取り組みが分かりやすくなるかと思うので検討してほしい。</li> <li>・毎回良く取り組んでいると思う。</li> <li>・書面開催では良く分からない事もある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々に活動や行事等の取り組みができるだけ分かりやすくなるために資料に活動写真を添付したり、運営推進会議の際に動画を見て頂くなど、報告のやり方を工夫する。</li> <li>・地域の方々から頂いた貴重な感想や意見を職員全体で共有し、具体的な取り組み方を話し合い、改善に繋げる。</li> </ul>                                |

|                    |   |   |   |  |
|--------------------|---|---|---|--|
|                    | 環境をつくる  |   |   |  |
| F. 事業所の<br>防災・災害対策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の際は撮影担当者も配置して撮影を行う、実施内容の記録と写真でも記録を残し、情報の提示と保管を徹底して行う</li> <li>・小規模・有料の備品リストを作成する</li> <li>【医療品】</li> <li>血圧計・体温計・サチュレーション・その他</li> <li>【介護品】</li> <li>排泄用品関連・ポータブルトイレ・バケツ・その他</li> <li>【食事関係】</li> <li>缶詰・レトルト食品・水（利用者各居室に保管）</li> <li>・事業所内でできる感染予防対策を今後も継続していく</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の様子を撮影し、実施内容記録と写真と共に記録で残している。1 2月の避難訓練で前回の反省点を振り返り、改善した方法で訓練を実施できた。</li> <li>・小規模・有料の備品管理は継続できている。</li> <li>・事業所内でできる感染予防対策は継続できている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害の際は地域との協力が不可欠になると考えられるので普段からの連携及び職員間の意識共有により力を入れてもらいたいと思う。</li> <li>・今年度は富田区の防災訓練も実施する予定なので是非参加してもらいたいと思う。</li> <li>・防災・災害対策についてよく取り組んでいると思う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害を想定して地域との連携を深めるために地域合同防災訓練を計画する。実施日については地域と話し合いながら決めていく（7月・11月頃を希望）</li> <li>事前に訓練の流れを地域の方々と話し合いフローチャートを作成し、地域の方々と職員間で共有しておく。</li> <li>・感染症・自然災害の非常災害時業務継続計画（BCP）の策定を進める。災害時、計画通りスムーズに対応できるように BCP の訓練の実施も計画する。</li> </ul> |

